

令和 6 年度 病院事業決算状況

都道府県名 高知県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	あき総合病院	2
-	幡多けんみん病院	3
土佐市	土佐市民病院	4
四万十市	市民病院	5
本山町	嶺北中央病院	6
いの町	いの町立国民健康保険仁淀病院	7
佐川町	高北国保病院	8
梶原町	国保梶原病院	9
大月町	国保大月病院	10
高知県・高知市病院企業 団	高知医療センター	11

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				高知県	
市町村・組合名					
病院名 あき総合病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	20,771 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨 へ 災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	175	85.9	82.2	84.8
療養	-	-	-	-
結核	5	7.8	5.1	0.8
精神	90	86.1	88.9	92.6
感染症	-	-	-	-
計	270	84.5	83.0	85.8
平均在院日数(一般病床のみ)		16.0	15.8	16.7

設立団体の状況		
人口(人)	691,527	
決算規模(千円)	467,385,536	
標準財政規模(千円)	272,660,761	
財政力指数	0.27477	
経常収支比率(%)	98.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.3
	将来負担比率(%)	178.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,655,220			
1 経常収益	6,648,562			
(1) 医業収益	4,798,794			
(うち修正医業収益)	4,619,966			
入院収益	3,285,454			
外来収益	1,268,642			
診療収入計	4,554,096			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	244,698			
(うち他会計負担金)	178,828			
(2) 医業外収益	1,849,768			
(うち国・都道府県補助金)	28,983			
(うち他会計補助・負担金)	1,504,660			
(うち長期前受金戻入)	288,441			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,658			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,086,752			
2 経常費用	7,042,384			
(1) 医業費用	6,697,169			
職員給与費	3,951,271	82.3	60.8	66.2
材料費	905,924	18.9	27.1	21.2
(うち薬品費)	486,789	10.1	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	414,353	8.6	11.8	10.1
減価償却費	381,980	8.0	8.6	9.5
経費	1,422,908	29.7	22.0	28.6
(うち委託料)	911,252	19.0	11.8	14.4
研究研修費	27,955			
資産減耗費	7,131			
(2) 医業外費用	345,215			
(うち支払利息)	63,797	1.3	0.9	1.0
(3) 特別損失	44,368			
損益	-393,822			
純損益	-431,532			
累積欠損金	9,079,311			
経常収支比率	94.4		93.0	89.9
医業収支比率	71.7		83.9	79.3
修正医業収支比率	69.0		81.0	75.9
他会計繰入金対経常収益比率	25.3		12.2	14.1
他会計繰入金対医業収益比率	35.1		14.3	17.0
他会計繰入金対総収益比率	25.3		12.3	14.6
実質収益対経常費用比率	70.5		81.6	77.2

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	21,803,476
1 固定資産	16,625,453
(1) 有形固定資産	15,892,788
(2) 無形固定資産	10,985
(3) 投資その他の資産	721,680
2 流動資産	5,178,023
(1) 現金及び預金	2,744,802
(2) 未収金及び未収収益	2,244,536
(3) 貸倒引当金()	1,702
(4) 貯蔵品	190,387
3 繰延資産	-
負債合計	25,629,206
1 固定負債	16,009,841
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,557,012
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	4,847,783
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,605,046
(6) リース債務	-
2 流動負債	4,710,474
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,729,591
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	577,498
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,321,698
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,908,891
(1) 長期前受金	16,681,090
(2) 長期前受金収益化累計額()	11,772,199
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-3,825,730
1 本金	9,073,996
2 剰余金	-12,899,726
(1) 資本剰余金	1,380,726
(2) 利益剰余金	-14,280,452
負債・資本合計	21,803,476
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	3,825,730
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,634,083	1,683,488
資本勘定繰入	173,378	272,158
計	1,807,461	1,955,646

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	119.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				高知県	
市町村・組合名					
病院名 幡多けんみん病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透し未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	26,023 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救急が感へ災 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	291	67.7	68.9	72.1
療養	-	-	-	-
結核	28	1.2	0.5	-
精神	-	-	-	-
感染症	3	-	-	-
計	322	61.3	62.3	65.1
平均在院日数(一般病床のみ)		12.1	12.9	13.8

設立団体の状況		
人口(人)	691,527	
決算規模(千円)	467,385,536	
標準財政規模(千円)	272,660,761	
財政力指数	0.27477	
経常収支比率(%)	98.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.3
	将来負担比率(%)	178.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,069,190			
1 経常収益	9,049,089			
(1) 医業収益	7,144,835			
(うち修正医業収益)	6,975,184			
入院収益	4,745,395			
外来収益	2,082,031			
診療収入計	6,827,426			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	317,409			
(うち他会計負担金)	169,651			
(2) 医業外収益	1,904,254			
(うち国・都道府県補助金)	36,556			
(うち他会計補助・負担金)	1,305,944			
(うち長期前受金戻入)	537,821			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	20,101			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,982,515			
2 経常費用	9,855,454			
(1) 医業費用	9,337,599			
職員給与費	4,907,736	68.7	60.8	61.3
材料費	1,793,540	25.1	27.1	26.2
(うち薬品費)	1,082,028	15.1	14.8	14.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	706,312	9.9	11.8	11.2
減価償却費	714,652	10.0	8.6	8.5
経費	1,857,280	26.0	22.0	21.8
(うち委託料)	1,126,493	15.8	11.8	11.9
研究研修費	43,329			
資産減耗費	21,062			
(2) 医業外費用	517,855			
(うち支払利息)	86,579	1.2	0.9	0.9
(3) 特別損失	127,061			
経常損益	-806,365			
純損益	-913,325			
累積欠損金	5,201,141			
経常収支比率	91.8		93.0	92.2
医業収支比率	76.5		83.9	84.6
修正医業収支比率	74.7		81.0	81.8
他会計繰入金対経常収益比率	16.3		12.2	10.8
他会計繰入金対医業収益比率	20.7		14.3	12.4
他会計繰入金対総収益比率	16.3		12.3	10.7
実質収益対経常費用比率	76.8		81.6	82.3

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	21,803,476
1 固定資産	16,625,453
(1) 有形固定資産	15,892,788
(2) 無形固定資産	10,985
(3) 投資その他の資産	721,680
2 流動資産	5,178,023
(1) 現金及び預金	2,744,802
(2) 未収金及び未収収益	2,244,536
(3) 貸倒引当金()	1,702
(4) 貯蔵品	190,387
3 繰延資産	-
負債合計	25,629,206
1 固定負債	16,009,841
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,557,012
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	4,847,783
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,605,046
(6) リース債務	-
2 流動負債	4,710,474
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,729,591
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	577,498
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,321,698
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,908,891
(1) 長期前受金	16,681,090
(2) 長期前受金収益化累計額()	11,772,199
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-3,825,730
1 本金	9,073,996
2 剰余金	-12,899,726
(1) 資本剰余金	1,380,726
(2) 利益剰余金	-14,280,452
負債・資本合計	21,803,476
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	3,825,730
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,415,938	1,475,595
資本勘定繰入	749,096	924,180
計	2,165,034	2,399,775

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	119.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				高知県	
市町村・組合名	土佐市				
病院名	土佐市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	13,146 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救臨 災		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	150	71.1	65.0	58.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	71.1	65.0	58.6
平均在院日数(一般病床のみ)		14.5	15.1	12.4

設立団体の状況		
人口(人)	25,732	
決算規模(千円)	15,217,499	
標準財政規模(千円)	8,021,294	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	90.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.1
	将来負担比率(%)	55.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,620,422			
1 経常収益	3,620,422			
(1) 医業収益	3,325,673			
(うち修正医業収益)	3,251,764			
入院収益	1,905,393			
外来収益	1,224,584			
診療収入計	3,129,977			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	195,696			
(うち他会計負担金)	73,909			
(2) 医業外収益	294,749			
(うち国・都道府県補助金)	1,042			
(うち他会計補助・負担金)	121,485			
(うち長期前受金戻入)	144,966			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,174,909			
2 経常費用	4,174,909			
(1) 医業費用	4,129,645			
職員給与費	2,561,802	77.0	60.8	69.3
材料費	485,527	14.6	27.1	18.4
(うち薬品費)	197,724	5.9	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	287,803	8.7	11.8	9.1
減価償却費	320,285	9.6	8.6	10.8
経費	750,073	22.6	22.0	29.9
(うち委託料)	301,823	9.1	11.8	13.7
研究研修費	7,579			
資産減耗費	4,379			
(2) 医業外費用	45,264			
(うち支払利息)	41,770	1.3	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-554,487			
純損益	-554,487			
累積欠損金	-			
経常収支比率	86.7		93.0	91.6
医業収支比率	80.5		83.9	77.4
修正医業収支比率	78.7		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	5.4		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	5.9		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	5.4		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	82.0		81.6	75.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	8,357,674
1 固定資産	4,614,919
(1) 有形固定資産	3,903,414
(2) 無形固定資産	661
(3) 投資その他の資産	710,844
2 流動資産	3,742,755
(1) 現金及び預金	3,174,374
(2) 未収金及び未収収益	537,948
(3) 貸倒引当金()	543
(4) 貯蔵品	29,975
3 繰延資産	-
負債合計	4,257,413
1 固定負債	3,438,951
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,466,944
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	972,007
(6) リース債務	-
2 流動負債	647,008
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	364,337
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	146,903
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	134,768
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	171,454
(1) 長期前受金	1,468,927
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,297,473
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,100,261
1 本金	2,970,723
2 剰余金	1,129,538
(1) 資本剰余金	3,904
(2) 利益剰余金	1,125,634
負債・資本合計	8,357,674
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	195,394	195,394
資本勘定繰入	165,082	165,082
計	360,476	360,476

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				高知県	
市町村・組合名	四万十市				
病院名	市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	11,392 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	99	81.6	80.8	74.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	81.6	80.8	74.4
平均在院日数(一般病床のみ)		20.5	22.0	21.3

設立団体の状況		
人口(人)	32,694	
決算規模(千円)	26,105,226	
標準財政規模(千円)	12,576,490	
財政力指数	0.35	
経常収支比率(%)	90.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.9
	将来負担比率(%)	106.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,497,907			
1 経常収益	1,489,674			
(1) 医業収益	1,193,522			
(うち修正医業収益)	1,193,522			
入院収益	601,139			
外来収益	559,038			
診療収入計	1,160,177			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	33,345			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	296,152			
(うち国・都道府県補助金)	14,681			
(うち他会計補助・負担金)	123,402			
(うち長期前受金戻入)	152,424			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8,233			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,602,505			
2 経常費用	1,602,288			
(1) 医業費用	1,534,921			
職員給与費	903,213	75.7	60.8	82.0
材料費	191,177	16.0	27.1	14.2
(うち薬品費)	113,594	9.5	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	76,213	6.4	11.8	6.1
減価償却費	86,141	7.2	8.6	12.5
経費	335,028	28.1	22.0	34.4
(うち委託料)	181,618	15.2	11.8	16.9
研究研修費	1,653			
資産減耗費	17,709			
(2) 医業外費用	67,367			
(うち支払利息)	6,874	0.6	0.9	1.2
(3) 特別損失	217			
経常損益	-112,614			
純損益	-104,598			
累積欠損金	2,676,911			
経常収支比率	93.0		93.0	93.1
医業収支比率	77.8		83.9	69.6
修正医業収支比率	77.8		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	8.3		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	10.3		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	8.2		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	85.3		81.6	68.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,639,714
1 固定資産	1,299,627
(1) 有形固定資産	1,298,992
(2) 無形固定資産	635
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	340,087
(1) 現金及び預金	121,115
(2) 未収金及び未収収益	221,202
(3) 貸倒引当金()	26,668
(4) 貯蔵品	24,364
3 繰延資産	-
負債合計	2,057,321
1 固定負債	1,207,953
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	323,975
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	300,000
(5) 引当金	583,978
(6) リース債務	-
2 流動負債	388,942
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	95,494
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	94,193
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	180,893
(9) 前受金及び前受収益	99
3 繰延収益	460,426
(1) 長期前受金	1,219,935
(2) 長期前受金収益化累計額()	759,509
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-417,607
1 資本金	2,259,304
2 剰余金	-2,676,911
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,676,911
負債・資本合計	1,639,714
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	417,607
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	121,742	123,402
資本勘定繰入	60,794	356,521
計	182,536	479,923

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	77,715	6.6
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	224.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				高知県	
市町村・組合名	本山町				
病院名	嶺北中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,235 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救臨へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	55	70.1	67.2	71.6
療養	44	68.7	75.9	76.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	69.5	71.0	73.9
平均在院日数(一般病床のみ)		22.2	21.4	22.3

設立団体の状況		
人口(人)	3,261	
決算規模(千円)	4,649,470	
標準財政規模(千円)	2,726,277	
財政力指数	0.16	
経常収支比率(%)	92.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.2
	将来負担比率(%)	34.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,553,897			
1 経常収益	1,553,530			
(1) 医業収益	1,102,555			
(うち修正医業収益)	1,059,473			
入院収益	605,959			
外来収益	383,260			
診療収入計	989,219			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	113,336			
(うち他会計負担金)	43,082			
(2) 医業外収益	450,975			
(うち国・都道府県補助金)	2,182			
(うち他会計補助・負担金)	270,802			
(うち長期前受金戻入)	90,946			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	367			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,719,650			
2 経常費用	1,719,388			
(1) 医業費用	1,546,908			
職員給与費	991,662	89.9	60.8	82.0
材料費	131,373	11.9	27.1	14.2
(うち薬品費)	51,507	4.7	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	73,935	6.7	11.8	6.1
減価償却費	124,445	11.3	8.6	12.5
経費	288,007	26.1	22.0	34.4
(うち委託料)	136,396	12.4	11.8	16.9
研究研修費	11,421			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	172,480			
(うち支払利息)	18,086	1.6	0.9	1.2
(3) 特別損失	262			
損益	-165,858			
純損益	-165,753			
累積欠損金	21,492			
経常収支比率	90.4		93.0	93.1
医業収支比率	71.3		83.9	69.6
修正医業収支比率	68.5		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	20.2		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	28.5		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	20.2		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	72.1		81.6	68.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	3,126,628
1 固定資産	2,822,251
(1) 有形固定資産	2,795,699
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	26,552
2 流動資産	304,377
(1) 現金及び預金	34,848
(2) 未収金及び未収収益	240,724
(3) 貸倒引当金()	1,600
(4) 貯蔵品	14,726
3 繰延資産	-
負債合計	2,518,950
1 固定負債	883,371
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	831,701
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	51,670
(6) リース債務	-
2 流動負債	371,329
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	205,404
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	64,500
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	30,000
(8) 未払金及び未払費用	63,259
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,264,250
(1) 長期前受金	2,265,886
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,001,636
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	607,678
1 資本金	629,170
2 剰余金	-21,492
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-21,492
負債・資本合計	3,126,628
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	262,952	313,884
資本勘定繰入	133,733	134,397
計	396,685	448,281

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				高知県	
市町村・組合名	いの町				
病院名	いの町立国民健康保険仁淀病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,101 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	14	指定病院の状況	救 災		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	60	89.3	80.4	83.1
療養	-	-	85.8	84.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	89.3	82.6	83.6
平均在院日数(一般病床のみ)		18.7	19.6	19.8

設立団体の状況		
人口(人)	21,374	
決算規模(千円)	15,229,409	
標準財政規模(千円)	8,456,036	
財政力指数	0.35	
経常収支比率(%)	91.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,052,501			
1 経常収益	2,052,501			
(1) 医業収益	970,990			
(うち修正医業収益)	924,514			
入院収益	665,454			
外来収益	208,897			
診療収入計	874,351			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	96,639			
(うち他会計負担金)	46,476			
(2) 医業外収益	1,081,511			
(うち国・都道府県補助金)	17,285			
(うち他会計補助・負担金)	317,264			
(うち長期前受金戻入)	80,477			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,001,820			
2 経常費用	2,001,820			
(1) 医業費用	1,230,459			
職員給与費	760,028	78.3	60.8	82.0
材料費	88,501	9.1	27.1	14.2
(うち薬品費)	44,519	4.6	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	42,819	4.4	11.8	6.1
減価償却費	118,902	12.2	8.6	12.5
経費	258,443	26.6	22.0	34.4
(うち委託料)	172,812	17.8	11.8	16.9
研究研修費	4,247			
資産減耗費	338			
(2) 医業外費用	771,361			
(うち支払利息)	19,651	2.0	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	50,681			
純損益	50,681			
累積欠損金	1,885,454			
経常収支比率	102.5		93.0	93.1
医業収支比率	78.9		83.9	69.6
修正医業収支比率	75.1		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	17.7		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	37.5		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	17.7		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	84.4		81.6	68.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	2,802,616
1 固定資産	2,415,364
(1) 有形固定資産	2,361,121
(2) 無形固定資産	748
(3) 投資その他の資産	53,495
2 流動資産	387,252
(1) 現金及び預金	104,556
(2) 未収金及び未収収益	267,691
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	15,005
3 繰延資産	-
負債合計	1,981,793
1 固定負債	1,212,253
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,040,645
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	171,608
(6) リース債務	-
2 流動負債	245,322
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	84,979
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	95,116
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	60,648
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	524,218
(1) 長期前受金	1,339,457
(2) 長期前受金収益化累計額()	815,239
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	820,823
1 本金	2,625,859
2 剰余金	-1,805,036
(1) 資本剰余金	45,318
(2) 利益剰余金	-1,850,354
負債・資本合計	2,802,616
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	276,109	363,740
資本勘定繰入	43,362	50,512
計	319,471	414,252

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	194.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		高知県	
市町村・組合名	佐川町		
病院名	高北国保病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	10,215 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	12	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	56	80.8	81.9	79.0
療養	42	80.5	89.6	87.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	80.7	85.2	82.7
平均在院日数(一般病床のみ)		21.5	24.7	23.4

設立団体の状況		
人口(人)	12,323	
決算規模(千円)	8,937,845	
標準財政規模(千円)	4,398,082	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	93.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,664,853			
1 経常収益	1,654,768			
(1) 医業収益	1,299,294			
(うち修正医業収益)	1,240,294			
入院収益	753,110			
外来収益	441,884			
診療収入計	1,194,994			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	104,300			
(うち他会計負担金)	59,000			
(2) 医業外収益	355,474			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	115,401			
(うち長期前受金戻入)	51,933			
(うち資本費繰入収益)	27,000			
(3) 特別利益	10,085			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,772,301			
2 経常費用	1,761,108			
(1) 医業費用	1,581,596			
職員給与費	930,386	71.6	60.8	82.0
材料費	172,514	13.3	27.1	14.2
(うち薬品費)	82,662	6.4	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	80,855	6.2	11.8	6.1
減価償却費	146,044	11.2	8.6	12.5
経費	328,410	25.3	22.0	34.4
(うち委託料)	173,675	13.4	11.8	16.9
研究研修費	2,464			
資産減耗費	1,778			
(2) 医業外費用	179,512			
(うち支払利息)	15,896	1.2	0.9	1.2
(3) 特別損失	11,193			
経常損益	-106,340			
純損益	-107,448			
累積欠損金	-			
経常収支比率	94.0		93.0	93.1
医業収支比率	82.2		83.9	69.6
修正医業収支比率	78.4		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	10.5		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	13.4		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	10.5		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	84.1		81.6	68.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	2,692,952
1 固定資産	1,786,862
(1) 有形固定資産	1,650,974
(2) 無形固定資産	5,482
(3) 投資その他の資産	130,406
2 流動資産	906,090
(1) 現金及び預金	670,198
(2) 未収金及び未収収益	223,413
(3) 貸倒引当金()	146
(4) 貯蔵品	11,625
3 繰延資産	-
負債合計	1,446,450
1 固定負債	954,286
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	934,346
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	14,000
(6) リース債務	5,940
2 流動負債	239,842
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	85,855
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	80,725
(6) リース債務	2,970
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	67,604
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	252,322
(1) 長期前受金	1,103,797
(2) 長期前受金収益化累計額()	851,475
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,246,502
1 資本金	818,939
2 剰余金	427,563
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	427,563
負債・資本合計	2,692,952
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	174,401	174,401
資本勘定繰入	89,985	98,863
計	264,386	273,264

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				高知県	
市町村・組合名	梶原町				
病院名	国保梶原病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,884 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	30	52.3	35.6	51.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	52.3	35.6	51.4
平均在院日数(一般病床のみ)		17.6	14.0	17.7

設立団体の状況		
人口(人)	3,307	
決算規模(千円)	6,395,424	
標準財政規模(千円)	3,192,751	
財政力指数	0.14	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	602,851			
1 経常収益	602,194			
(1) 医業収益	355,648			
(うち修正医業収益)	319,354			
入院収益	131,973			
外来収益	152,324			
診療収入計	284,297			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	71,351			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	246,546			
(うち国・都道府県補助金)	96			
(うち他会計補助・負担金)	220,152			
(うち長期前受金戻入)	7,927			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	657			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	588,684			
2 経常費用	588,123			
(1) 医業費用	565,975			
職員給与費	373,770	105.1	60.8	92.5
材料費	27,362	7.7	27.1	14.2
(うち薬品費)	14,614	4.1	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	8,214	2.3	11.8	5.8
減価償却費	26,116	7.3	8.6	13.4
経費	131,552	37.0	22.0	47.6
(うち委託料)	58,093	16.3	11.8	23.6
研究研修費	1,108			
資産減耗費	6,067			
(2) 医業外費用	22,148			
(うち支払利息)	1,528	0.4	0.9	0.9
(3) 特別損失	561			
経常損益	14,071			
純損益	14,167			
累積欠損金	255,778			
経常収支比率	102.4		93.0	95.6
医業収支比率	62.8		83.9	59.3
修正医業収支比率	56.4		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	42.6		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	72.1		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	42.5		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	58.8		81.6	60.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	902,520
1 固定資産	579,687
(1) 有形固定資産	579,541
(2) 無形固定資産	146
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	322,833
(1) 現金及び預金	199,000
(2) 未収金及び未収収益	94,868
(3) 貸倒引当金()	524
(4) 貯蔵品	29,489
3 繰延資産	-
負債合計	211,850
1 固定負債	57,049
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	57,049
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	70,401
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,691
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	23,817
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	30,701
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	84,400
(1) 長期前受金	185,844
(2) 長期前受金収益化累計額()	101,444
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	690,670
1 資本金	763,843
2 剰余金	-73,173
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-73,173
負債・資本合計	902,520
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	140,447	256,446
資本勘定繰入	34,178	35,975
計	174,625	292,421

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	71.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		高知県	
市町村・組合名	大月町		
病院名	国保大月病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	2,103 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	2	指定病院の状況	救 へ
許可公営企業		看護配置	13:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	25	61.5	55.1	58.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	25	61.5	55.1	58.7
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	8.0	15.1

設立団体の状況		
人口(人)	4,434	
決算規模(千円)	5,416,496	
標準財政規模(千円)	3,004,753	
財政力指数	0.18	
経常収支比率(%)	91.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.6
	将来負担比率(%)	12.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	558,750			
1 経常収益	558,750			
(1) 医業収益	444,784			
(うち修正医業収益)	383,017			
入院収益	149,303			
外来収益	212,302			
診療収入計	361,605			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	83,179			
(うち他会計負担金)	61,767			
(2) 医業外収益	113,966			
(うち国・都道府県補助金)	310			
(うち他会計補助・負担金)	84,358			
(うち長期前受金戻入)	15,139			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	540,398			
2 経常費用	540,398			
(1) 医業費用	528,854			
職員給与費	359,025	80.7	60.8	92.5
材料費	56,325	12.7	27.1	14.2
(うち薬品費)	24,845	5.6	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	24,863	5.6	11.8	5.8
減価償却費	30,769	6.9	8.6	13.4
経費	81,367	18.3	22.0	47.6
(うち委託料)	45,123	10.1	11.8	23.6
研究研修費	960			
資産減耗費	408			
(2) 医業外費用	11,544			
(うち支払利息)	230	0.1	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	18,352			
純損益	18,352			
累積欠損金	76,377			
経常収支比率	103.4		93.0	95.6
医業収支比率	84.1		83.9	59.3
修正医業収支比率	72.4		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	26.2		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	32.9		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	26.2		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	76.4		81.6	60.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	771,969
1 固定資産	263,264
(1) 有形固定資産	261,557
(2) 無形固定資産	1,707
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	508,705
(1) 現金及び預金	438,828
(2) 未収金及び未収収益	63,586
(3) 貸倒引当金()	163
(4) 貯蔵品	6,454
3 繰延資産	-
負債合計	167,056
1 固定負債	35,147
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	35,147
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	55,497
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,558
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	26,000
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	22,939
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	76,412
(1) 長期前受金	226,800
(2) 長期前受金収益化累計額()	150,388
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	604,913
1 資本金	681,290
2 剰余金	-76,377
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-76,377
負債・資本合計	771,969
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	144,857	146,125
資本勘定繰入	5,438	10,875
計	150,295	157,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	17.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		高知県	
市町村・組合名	高知県・高知市病院企業団		
病院名	高知医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓カ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	75,965 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	40	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	548	75.6	74.6	70.7
療養	-	-	-	-
結核	20	2.5	17.5	49.4
精神	44	36.6	40.2	36.2
感染症	8	-	-	0.1
計	620	69.5	69.4	66.7
平均在院日数(一般病床のみ)		10.9	10.7	10.8

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	24,588,529				
1 経常収益	24,499,155				
(1) 医業収益	20,969,445				
(うち修正医業収益)	20,570,676				
入院収益	15,091,299				
外来収益	4,846,486				
診療収入計	19,937,785				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	1,031,660				
(うち他会計負担金)	398,769				
(2) 医業外収益	3,529,710				
(うち国・都道府県補助金)	462,667				
(うち他会計補助・負担金)	1,980,658				
(うち長期前受金戻入)	711,026				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	89,374				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	25,862,776				
2 経常費用	25,766,375				
(1) 医業費用	23,958,314				
職員給与費	11,638,520	55.5	60.8	53.3	
材料費	6,851,305	32.7	27.1	33.0	
(うち薬品費)	4,088,148	19.5	14.8	18.6	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,763,157	13.2	11.8	14.1	
減価償却費	1,164,689	5.6	8.6	7.4	
経費	4,224,505	20.1	22.0	17.2	
(うち委託料)	2,996,074	14.3	11.8	10.2	
研究研修費	61,304				
資産減耗費	17,991				
(2) 医業外費用	1,808,061				
(うち支払利息)	253,281	1.2	0.9	0.7	
(3) 特別損失	96,401				
経常損益	-1,267,220				
純損益	-1,274,247				
累積欠損金	8,031,741				
経常収支比率	95.1		93.0	94.3	
医業収支比率	87.5		83.9	89.6	
修正医業収支比率	85.9		81.0	87.6	
他会計繰入金対経常収益比率	9.7		12.2	7.6	
他会計繰入金対医業収益比率	11.3		14.3	8.5	
他会計繰入金対総収益比率	9.7		12.3	7.6	
実質収益対経常費用比率	85.8		81.6	87.1	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	36,988,337
1 固定資産	22,465,184
(1) 有形固定資産	22,266,856
(2) 無形固定資産	198,314
(3) 投資その他の資産	14
2 流動資産	14,523,153
(1) 現金及び預金	7,791,675
(2) 未収金及び未収収益	4,309,920
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	238,959
3 繰延資産	-
負債合計	29,919,824
1 固定負債	19,511,475
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,292,888
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	5,218,587
(6) リース債務	-
2 流動負債	5,953,932
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,736,853
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	747,071
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,374,670
(9) 前受金及び前受収益	581
3 繰延収益	4,454,417
(1) 長期前受金	17,024,560
(2) 長期前受金収益化累計額()	12,570,143
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	7,068,513
1 資本金	13,385,958
2 剰余金	-6,317,445
(1) 資本剰余金	1,714,296
(2) 利益剰余金	-8,031,741
負債・資本合計	36,988,337
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,357,804	2,379,427
資本勘定繰入	1,580,726	1,593,731
計	3,938,530	3,973,158

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	38.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。